

特集

熱海・湯河原・箱根

首長対談

垣根のない 地域交流を 語る



熱海



湯河原



箱根

※観光圏：複数の観光地（市町村）が連携した、2泊3日以上滞在が可能な圏域。現在、国が45地域を認定し、静岡県熱海市、神奈川県小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、真鶴町、湯河原町および本町で「箱根・湯河原・熱海・あしがら観光圏」を形成している。

県境を越えて交流している静岡県熱海市の齋藤市長の発案により、湯河原町の富田町長、本町の山口町長との3者対談が熱海市内で行われました。

これは、観光圏の設立を機に、これまでの広域行政を振り返り、また、今後のさらなる交流に向けて3者で対談を…とのことから実現したもので、それぞれの住民の日常生活のあり方や観光の観点からの地域活性化などについて、ざつとばらんな意見交換の場となりました。その様子の一部を紹介します。

齋藤 箱根町そして湯河原町とは、これまで県境を越えての広域の取り組みとして、さまざまな連携をさせていただいております。

まず箱根町との交流ですが、先日私も初めて参加しましたが、海老名サービスエリア（SA）で観光誘客キャンペーンを合同で実施しています。両市町のブースが並ぶのですが、私は、さらに観光客の視点で観光ルートを作ったり、ツアーを組んだりするなどをやっていきたいと思っています。

生の情報で「おもてなし」

山口 海老名SAは、お客さんが多く集まるサービスエリアの1つだと思えます。伊豆や箱根へ来るお客さんは、大抵ここで休んでそれぞれの目的地に向かって行きます。そういう立地にあることで、「今日は熱海に行きます」とか「今日はこれから箱根に行くんです」というお客さんが、マップやパンフレットを手に取っていきます。それらを渡すときに耳寄りな情報の提供や説明をすることが、おもてなしの1つだと考えています。いわゆる生の情報を提供して誘導するという

生活面の強いつながり

齋藤 湯河原と熱海は、観光以外にも消防や汚水処理そして買い物などの生活の面で連携をさせていただいております。

富田 生活に密着した部分の広域行政は、長い間の歴史もあります。生活は変わらないと思います。車に近いということで市民レベ

ルでの行き来は普通に行われていると思います。これは湯河原にとつては、本場にありがたいことです。

湯河原の個人店舗は、統計データを見て近年減っています。真鶴も減っているんですね。けれども、国道135号沿いの商業地域が整備されたこともあってか、湯河原での消費量は、店舗数の落ち込みほど落ちていません。

おそらく真鶴と熱海の人たちに、湯河原で消費をしていただいているからだと思います。そういった部分では、市長のおっしゃるとおり、生活面でのつながりは強いと思います。

山口 仕事で近くに来ると、必ず国道135号沿いの商業地域を見ていきますが、平日でもかなりの車が止まっています。大型



熱海市長

富田 世界の箱根と熱海が手を組むことで、国内的にはインパクトが強いと思いますし、その2つに比べて、湯河原の認知度というのは低いのは分かっています。逆はこの機会に、湯河原がその2つの間にあるという

の店舗が増えて、あそこが消費の中心になってくるのは、間違いないですね。

齋藤 箱根と湯河原は神奈川県、熱海は静岡県ですが、市町の境界そして県境というのは市民の生活にはあまり関係がないと思えます。

山口 確かにそうです。熱海と湯河原の人は、結構箱根に勤めに来ています。そういう意味では、熱海と湯河原とは、市長が言ったように、机上の線ではなくて、住民は意識せずに行動しています。

県境を越えた観光圏

山口 広域行政は、それぞれの優れた資源を活用して観光客に楽しんでいただくことだと思

富田 世界を越えて、国内にはインパクトが強いと思えますし、その2つに比べて、湯河原の認知度というのは低いのは分かっています。逆はこの機会に、湯河原がその2つの間にあるという

要だと考えています。山口 3市8町の観光圏が認められて、率直に良かったなと思

これからの日本の総人口は減少期に入っていますし、これまでの水準、また、それ以上の水準を得るためには、海外に市場を求めなければいけない。その1つの大きな市場はアジアです。そうすると、1泊して見て帰る、1つの市町村で完結する観光では難しいだろうと。それよりも、広域で優れた資源を線で結んで、1泊の場所をもう1泊しても

山もあり、湖もあり、海もあり、その中に産業もありと、それだけの資源があると思っています。先ほどごちそうになった熱海産ダイダイのマーレードなどの地域の資源を活用すれば、1泊でなく2泊、3泊のコースを観光客に提供できると思えますし、訪日外客を増やし、満足してもら

富田 3市8町が認められ、枠組みが確定したことは、多くの方のご努力があったことだと思

観光面では、この地域がお客さんを受け入れる体制作りを、観光の歴史がある1市2町を中心

単なるライバルではない

齋藤 観光圏の重要なテーマの1つに、交通手段があると思



湯河原町長

齋藤 熱海も湯河原と同じで、陸からはほとんど富士山が見えないのですが、初島に行く途中で見えてくるんですね。何が良いかという、街並みの背後に富士山が見えるので、外国人にはとてもアピールになるんです



箱根町長